

阿賀野市農業技術情報

No.2 令和元年 7月号
阿賀野市農業振興協議会

【この時期の管理ポイント】

- 畦畔・農道の草刈りを徹底し、カメムシ類の生息密度を低下させましょう！
- 適期の中干しと溝切りにより、根の健全な発育を促し、気象変動(猛暑や強風)に負けない丈夫な稲づくりを実践しましょう！
- 登熟を高めるため、ケイ酸質資材の施用(追肥)を積極的に行いましょう！

1 6月20日現在の水稻生育状況 (連休植えは茎数過剰気味)

- (1) 5月の連休以降高温・多照で植え傷み発生は少なく、活着良好で順調なスタートを切りました。
- (2) 分けつ発生も旺盛で、早い田植えの稲は茎数過剰となっています。
- (3) 葉数の進みも早く、生育は進んでいますが、6月に入り梅雨入り以降は、低温傾向となり葉数の進みは鈍化しています。
- (4) 現在の生育状況は、草丈は長め、茎数は多い、葉数は進んでいる、葉色は濃く、生育は旺盛となっています。

表1 水稻生育状況(6月20日現在)

品種名	地域名	田植日	草丈(cm)			茎数(本/m ²)			葉数(L)			葉色(SPAD)		
			本年値	前年比	平年比	本年値	前年比	平年比	本年値	前年差	平年差	本年値	前年差	平年差
コシヒカリBL	指標値	5/10	34	-	-	350	-	-	8.3	-	-	37.5	-	-
	水原 下条	5/8	39	96%	99%	417	142%	105%	9.2	+0.4	+0.4	41.8	+0.2	+1.3
	京ヶ瀬 駒林	5/2	44	113%	-	386	114%	-	9.3	1.0	-	39.4	-0.4	-
	安田 籠田	5/8	38	109%	102%	356	127%	99%	9.6	+1.1	+0.9	41.2	+5.5	+2.2
	笹神 宮島	5/3	38	90%	101%	493	119%	131%	9.9	+0.4	+0.7	40.3	-0.3	-1.3
	笹神 沖	5/8	44	109%	114%	640	128%	171%	10.3	+0.6	+2.8	40.1	-2.1	+7.1
こしいぶき	指標値	5/10	33	-	-	350	-	-	8.1	-	-	42.1	-	-
	水原 中湯	5/9	38	136%	-	577	101%	-	9.7	+0.5	-	42.1	+2.3	-
	京ヶ瀬 田山	5/3	40	118%	-	568	192%	-	9.5	+1.1	-	41.3	+3.2	-
安田 籠田	5/8	35	109%	103%	369	142%	111%	9.5	+1.1	+0.6	42.2	+5.0	+0.9	
つきあかり	水原 大野地	5/2	51	94%	-	590	177%	-	9.2	-0.2	-	43.0	-0.6	-
ちほみのり	笹神 時田	5/3	46	-	-	622	-	-	10.1	-	-	42.2	-	-
あきだわら	水原 大野地	5/7	45	129%	-	634	190%	-	9.5	3.4	-	45.2	-1.1	-

2 中干し後～穂肥までの管理 (溝切り・飽水管理・ケイ酸質資材の施用)

6月20日発表の北陸地方の1ヶ月予報では、気温、日照時間、降水量ともほぼ平年並となっていますが、今年の夏はエルニーニョ現象により、晴れの日が少なく雨が多い予想となっています。気象変動に負けない稲づくりに向けて、下記の対策を徹底しましょう。

- (1) 溝切りは必ず実施しましょう
 - ・ 迅速な水の供給と排水、渇水時の効率的な用水利用を図るため、溝切りは必ず行いましょう。
 - ・ 中干し後は、飽水管理(浅水で湛水→足あとに水が残っているくらいまで減水→再び浅水湛水)を継続しましょう。
- (2) ケイ酸質資材の積極追肥で登熟向上を図りましょう
 - ・ 稲は、出穂40日前頃から出穂期にかけて、ケイ酸を最も多く吸収します。このため、出穂40～35日前のケイ酸追肥は丈夫な稲づくりとともに登熟向上に効果的です。
- (3) 業務用米の管理ポイント
 - ・ つきあかり、ちほみのりなど極早生の業務用米(多収性品種)は、穂肥が遅れないよう注意しましょう。一発タイプの施肥でも葉色がSPAD値40を下回るようなら追肥を行いましょう。

表2 主なケイ酸質資材の施用例

資材名	施用時期	施用量(kg/10a)
けい酸加里プレミアム34	出穂35～40日前	20～40
マルチサポート2号	出穂40日前	20～40
ミネラル三味	出穂20～40日前	15～30

★ケイ酸の効果

- ・ 受光態勢が良くなる
 - ・ 根の酸化力を高め、根腐れ等を防止
 - ・ 高温時など光合成低下を防止
 - ・ 病害虫に対する抵抗力が強まる
- など

3 穂肥施用のポイント 「出穂は、平年より2日程度早い予想」

- (1) 6月20日現在の水稻の生育は、5月の好天により進んでいます。出穂期は今後の天候により変動しますので、あくまでも現段階での「めやす」としてください。
- (2) 穂肥の施用に当たっては、最新情報を確認するとともに、必ず生育診断を行いましょう。
- (3) 特に極早生品種は、施用時期が早いので、1回目の穂肥が適期に施用できるよう準備しておきましょう。
- (4) 穂肥に使用する肥料の種類や施肥体系による使用時期や施用量に注意しましょう。(下表参照)

表3 出穂予想と穂肥の施用量・時期のめやす (※ 連休田植えを基準に予想)

品種名	幼穂形成期	出穂期	穂肥要素量(kg/10a)	穂肥時期			
				1回目		2回目	
ちほみのり	6/27	7/20	4～6	6/25 (-25)	～ 6/27 (-23)	7/6 (-14)	
つきあかり	7/1	7/24	4～6	6/29 (-25)	～ 7/1 (-23)	7/10 (-14)	
こしいぶき	7/3	7/25	2～3	7/2 (-23)	～ 7/5 (-20)	7/11 (-14)	
コシヒカリ(連休植え)	7/11	8/3	1～3	7/16 (-18)	～ 7/19 (-15)	7/24 (-10)	
コシヒカリ(5/10植え)	7/13	8/5	1～3	7/18 (-18)	～ 7/21 (-15)	7/26 (-10)	
新之助	7/20	8/12	1～2	7/22 (-21)	～ 7/25 (-18)	8/1 (-12)	8/3 (-10)
あきだわら	7/21	8/13	4～6	7/19 (-25)	～ 7/21 (-23)	7/30 (-14)	8/1 (-12)
わたぼうし	6/30	7/23	3～4	6/30 (-23)	～ 7/3 (-20)	7/11 (-12)	7/13 (-10)
こがねもち	7/8	7/31	1～3	7/13 (-18)	～ 7/16 (-15)	7/21 (-10)	

※幼穂形成期: 幼穂長1mm以上の穂が全体の80%以上となった時(出穂23～22日前)

必ず幼穂を確認しよう!

◆ 幼穂の確認方法
カッターなどで割る

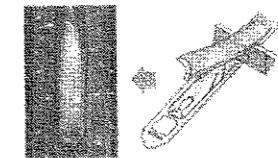


表4 肥料の種類及び施肥体系別 穂肥施用のめやす(コシヒカリ)

施肥体系	肥料の種類	出穂前日数				
		30日前	25日前	18～15日前	10日前	3日前
分施	化学肥料	-	-	1回目	2回目	3回目 ★葉色32(葉色板3.9)以下の 場合のみN1.0kg
	有機質肥料			★1回・2回目合計でN 1.0～3.0kg		
	有機由来N:50%	-	1回目	2回目	3回目 ★葉色32(葉色板3.9)以下の 場合のみN1.0kg	-
基肥	有機由来N:100%	1回目	-	2回目	-	-
	有機由来N:50%	-	追肥(有機由来N100%の肥料を使用)		-	
	有機由来N:100%	-	★葉色34(葉色板4.2)以下の場合のみN1.0kg		-	